



令和3年11月22日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

グローバルサイエンスキャンパス（GSC） 令和3年度全国受講生研究発表会開催 受賞者を発表

JST（理事長 濱口 道成）は、グローバルサイエンスキャンパス（GSC）令和3年度全国受講生研究発表会を、オンラインで10月13日（水）から11月21日（日）に開催し、文部科学大臣賞以下、優秀賞を決定しました。

GSCは、世界を舞台に活躍できる科学技術系人材の育成を目的として、卓越した意欲と能力を持つ高校生などを対象に、各地の大学等で国際的な活動を含む高度で体系的な育成プログラムを開発、実施する取り組みです。JSTが平成26年度より推進する事業で、本年度は約660人が受講しています。

第8回目となる発表会では、同事業を実施している全国16の機関（「情報科学の達人」育成官民協働プログラム実施機関および過去に実施していた2機関含む）で学んだ受講生61人が計56件の発表を行い、日頃の研究活動の成果を披露しました。

次世代の科学者に求められる科学的探究能力の獲得度合いや、研究の専門的達成水準のほか、研究の意義や貢献を適切にアピールできたかなどについて審査を行った結果、文部科学大臣賞1件、科学技術振興機構理事長賞1件、審査委員長特別賞2件、優秀賞8件が選ばれました。

グローバルサイエンスキャンパス推進委員会委員長の大路 樹生 名古屋大学 教授は大会の総評を次のように述べています。「コロナ禍も2年目となり、受講生の研究活動に多少の心配をしておりましたが、例年以上に優れた研究発表が多数なされ、とても嬉しく思います。特に今年は情報・技術系の優れた研究発表が多く寄せられたことが1つの特徴だと思います。これからも受講生たちの研究が進展していくこと、そして彼ら・彼女らがこれからの日本を支える立場となっていくことに期待します。」

<添付資料>

別紙：グローバルサイエンスキャンパス（GSC）令和3年度全国受講生研究発表会
受賞者一覧

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 理数学習推進部
〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル
小泉 輝武(コイズミ テルタケ)、ラオ ちぐさ
Tel：048-226-5669
E-mail：[gsc\[at\]jst.go.jp](mailto:gsc[at]jst.go.jp)

グローバルサイエンスキャンパス（GSC）
令和3年度全国受講生研究発表会 受賞者一覧

※以下、発表番号、実施機関、発表者、学校名、学年、発表テーマの順。

■文部科学大臣賞（1件）

C-26 広島大学 楠 ゆずは 鳥取県立米子東高等学校 高2
大山におけるジョウビタキの繁殖生態～繁殖環境と雌雄の役割分担の関係性に着目して～

■科学技術振興機構理事長賞（1件）

G-42 国立情報学研究所(共同機関：情報処理学会、情報オリンピック日本委員会)
柴田 謙 William Lyon Mackenzie Collegiate
Institute 高1
並列処理に特化したプログラミング言語「Coa」の開発

■審査委員長特別賞（2件）

A-3 神戸大学（共同機関：兵庫県立大学、関西学院大学、甲南大学）
中島 里菜 大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎 高2
水中を落下するふたつの液滴が相互に与える影響

D-35 慶應義塾大学 水鳥 俊 慶應義塾高等学校 高2
麻酔薬プロポフォールがアストロサイト活動に及ぼす効果の薬理的解析

■優秀賞（8件）

B-7 琉球大学 仲松 日菜子 沖縄県立球陽高等学校 高2
鉄錯体と紫外線はケイ素—硫黄結合切断反応において有効か

B-13 静岡大学 真次 怜 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 高2
ポリ乳酸へのヤブガラシが持つ赤い色素配合によるUV遮蔽性の付与

C-16 慶應義塾大学 渡邊 慧子 桜蔭高等学校 高2
エダアシクラゲメデューサの傘切除における再生様式の違いについて

C-27 広島大学 原田 茉優 山口県立宇部高等学校 高2
ティランジアによる調湿に最適な環境条件

C-28 東京大学 増田 映旗 城北高等学校 高2
チャイロコメノゴミムシダマシのプラスチック分解能力に関する考察

G-41 東京大学 小松 勇輝 立命館慶祥高等学校 高2
外出自粛時における装着型ウェアラブルデバイスを使った会話量測定

G-43 国立情報学研究所(共同機関：情報処理学会、情報オリンピック日本委員会)
清原 光夏 メンロスクール 高3
透明性の高い、不満の小さい、スケーラビリティのある高校クラス割り当てメカニズム

の開発

H-49 東京大学 奥村 万美 渋谷教育学園渋谷高等学校 高2

F 特異大腸菌ファージG I I Iの可能性～糞便汚染を測る新たな指標になりうるのか？
～

<文部科学大臣賞受賞者コメント>

楠 ゆずは（クスノキ ユズハ）さん（米子東高等学校2年）

発表タイトル「大山におけるジョウビタキの繁殖生態～繁殖環境と雌雄の役割分担の関係性に着目して～」

「私の研究はフィールドワークが中心なので、なかなか結果が出ないことも多く、大変なこともあるのですが、色々な方の助けを借りてここまで来ることができたと思っています。広島大学の西堀先生や永田先生、他の教授の方々、事務局の方々、調査地の大山町の皆様にとっても感謝しています。これからも頑張っていきたいと思います。」

以上